



たかの
高野たけし
無所属 49歳

逗子市議会議員（6期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・都市計画審議会委員

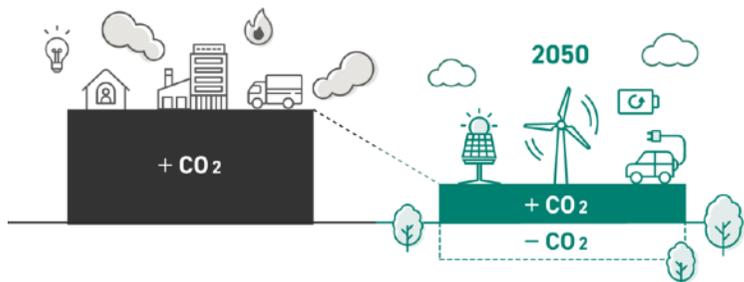
高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

世界各地で極端な気象現象が発生している要因の一つに温室効果ガスの排出がもたらす地球温暖化があげられます。そして地球温暖化がそのまま続いてしまうと、これまで多くの生命を育ててきた地球環境を破壊する未来が待っています。

我が国では衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスは全体のおよそ6割にのぼるとされており、国民一人ひとりのアクションが不可欠となっています。逗子市においても住宅都市という特性から、生活全体に関係する温室効果ガス排出の大幅な削減を行なっていくためには、ライフスタイルの変革が必須と言えます。

こうした現状を踏まえ、逗子市では「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」をスローガンに、市民、事業者、行政が一体となり2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指していくことになりました。



※温室効果ガス排出実質ゼロというのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

政治資金の残り 51,428円

(令和4年3月の内訳)

支出…両面テープ・結束バンド 6,777円

電気自動車を導入しカーシェアリング

公用車として電気自動車を導入し、土・日・祝日は一般の方に貸し出すカーシェアリングを開始。



カーボンニュートラル推進補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入への補助(最高50万円)、再エネ・省エネ・蓄エネ機器設置への補助(最高15万円)、電気自動車用充電設備購入への補助(最高20万円)に関する制度を創設。



生ごみの分別資源化で環境保全

2市1町(逗子市・鎌倉市・葉山町)の広域処理により生ごみの分別資源化を推進し、二酸化炭素排出量の大幅な削減に。
※R7年度までに約-6,000トン(約30%減)



公共施設再エネ100%に向けて

市が管理・所有する施設における再生可能エネルギー電力使用率を100%へ。
※現在の再エネ電力使用率は約66%



豊かな自然環境を未来へ

市民団体と連携した環境啓発活動・自然観察会の実施、市内小中学校での環境教育の推進。



Topics

逗子市の空き家率は5.8%(1,690軒)との推計値も出されており、平成31年4月には”空き家バンク”を立ち上げ、空き家の賃貸や売却をサポートしてきましたが、さらに空き家となっている土地家屋の流通を進めるために今年度から新たな事業をスタートすることになりました。

■ 空き家アドバイザー派遣制度

空き家が抱える問題解決のために、行政書士、宅建士、建築士、弁護士などを相談内容に応じて派遣する制度です。

■ 空き家流通促進補助モデル（令和4年度限定事業）

1年以上空き家であった居住用の建物で、”空き家アドバイザー派遣制度”を利用した物件に対して、必要経費の1/2(最大70万円)を補助する制度です。



例えば・・・

- ・相続にかかる不動産登記費用
- ・遺品、家財等の整理処分費用
- ・空き家の解体費用
- ・権利関係に関する弁護士等への相談費用

※応募期間は令和4年6月30日までで、選考により決定。(予定件数に達しない時はその後も随時募集)

空き家に関する事業は「逗子市まちづくり景観課」が窓口になります。

TEL: 046-872-8124 Mail: machi@city.zushi.lg.jp

三浦半島地域4市1町の空き家率

	住宅総数	空き家総数	二次的住宅等	空き家	空き家率
三浦市	22,150	4,850	2,900	1,950	8.8%
葉山町	14,730	2,090	1,190	900	6.1%
逗子市	29,300	5,020	3,330	1,690	5.8%
横須賀市	194,330	28,750	17,640	11,110	5.7%
鎌倉市	81,250	9,460	4,900	4,560	5.6%

※総務省が5年毎に行っている住宅・土地統計調査をベースに、別荘等の二次的住宅等を除いた空き家率を算出。

～ 臨時議会 ～

3月27日に投開票が行われた市議会議員選挙を経て新たに17人の議員が決まり、4月13日に臨時議会が開催されました。本会議にて、議長に菊池俊一議員、副議長に橋爪明子議員を選出。私は総務常任委員会と議会運営委員会に所属するとともに、都市計画審議会の議会選出委員を担うことになりました。

また、本臨時議会には専決処分された補正予算など5件の議案が上程されましたが、介護サービス等給付事業を含む議案第30号においては賛成多数(賛成14人:反対1人:退席1人)で、その他の議案4件は全会一致で可決されたところです。(高野たけしは議案5件全てに賛成)

【 補正予算に含まれる主な事業 】

*地域型給付事業 123万円(負担割合:国1/2、県1/4、市1/4)

保育所等の利用者に対し行う新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園、登園自粛時などの保育料減免額を園に対して補助するもの。

*放課後児童クラブ事業 134万3千円(負担割合:国1/3、県1/3、市1/3)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行った休所、登所自粛などに伴う保育料減免相当額を指定管理料に上乗せするもの。

*介護サービス等給付事業 2,400万円(保険料から852万円、その他は国や県からの負担金など)

コロナ禍の影響により介護サービス等にかかる給付費の不足が見込まれるため、予算額を増額するもの。

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp